

都 々 逸

少し甘えて 羽織の紐を
結び直した 立ち話

江戸の気つぶが 生きてる小店
紺の暖簾の くぐり甲斐

君をお前と 呼ばれた宿で
もう一度濡れたい にわか雨



数学の時間

現在、A君の年齢は11才、父の年齢は45才である。父の年齢がA君の年齢の3倍になるのは、今から何年後になりますか？

蕎麦豆知識 【かえし】

醤油、砂糖みりんを合わせたもので、蕎麦のたれのベースとなる。“本がえし”と言って火を入れて作る方法と、“生がえし”と言って火を入れないものがある。作り方や材料の比率は当然ながら、店ごとに異なる。本がえしで作られたかえしは1週間ぐらい寝かせて熟成させる。“土たんぼ”という専用のカメで熟成させると、よりまろやかになる。このかえしにだし汁を加えて、そばの汁を作る。

江戸のことわざ 【江戸紫に京鹿子】

染め物で紫色は江戸が、鹿の子絞りは京都が一番である。江戸時代の東西両都の染色の特長を言った言葉。紫は、奈良・平安時代から天皇、皇族以外着用を禁じられていた。紫色は、京紫の赤がちと江戸紫の青がちと、見た目にははっきりと違っていた。江戸紫は歌舞伎『助六由縁江戸桜』で助六が頭に締めている縮緬の鉢巻の色である。

京鹿子は、江戸時代になって京都で確立した精緻・豪華な染め物で、手間をかけた西陣織・友禅染と並んで贅を極めた。京鹿子も歌舞伎舞踊『京鹿子娘道成寺』で白拍子の花ごがまとい、人々は華麗な舞に心を奪われた。

サラリーマン川柳

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 やってみせ やらせてみたら もう来ない | 6 不信任 我が家が出たら すぐ可決 |
| 2 我が弁当 昔愛妻 今ついで | 7 いつまでも 大器晩成 信じてた |
| 3 先に言え 彼女なしより 妻子有り | 8 金かけぬ 予想は何故か 良く当たり |
| 4 おめでたと 聞かれて一言 自腹です | 9 君がやれ 俺が報告 しとくから |
| 5 カラオケは 歌う幸せ 聞く不幸 | 10 子の欠点 気づいてみれば 我が欠点 |

源氏物語 【物語の概要 ⑤】

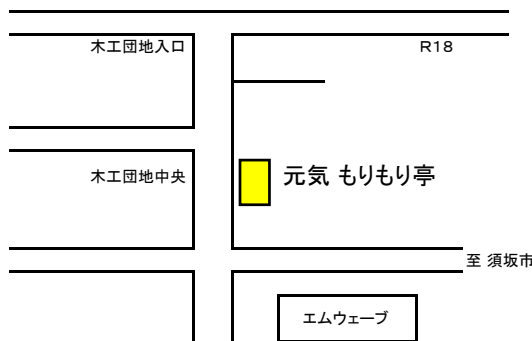
源氏35歳の秋、六条院が完成して紫の上・華散里・明石の君が入居した。源氏は、昔の夕顔の遺児のことを気に掛けていてその娘玉鬘を、源氏は養女にした。世間には、実子と紹介したので、蛸宮、鬚黒大将などが求婚してきた。紆余曲折ののち玉鬘は鬚黒大将と結婚するが、北の方とは離婚したので、実家の式部卿宮家では、源氏と紫の上の仕組んだことと恨んだ。源氏39歳の年、明石姫君が東宮に入内し源氏は準太上天皇に、内大臣は太政大臣になった。光源氏の栄華はきわまった時である。

経済の時間 【プライス・メカニズム】

需要が供給を上回っている時には、価格が上昇する事によって需要が減少し供給が増加し、逆に供給が需要を上回ると、価格が下がることによって需要が増加し、供給が減少する。こうして、価格が変動することによって需要と供給のバランスが保たれる。こういう仕組みを、“プライス・メカニズム”と言う。

おいしい“そば・うどん”のお店

【長野市編】



つまらない話

- 1 “うってかわって”を使って、文を作れ。—— 彼は麻薬を打って変わってしまった。
- 2 “いかにも”を使って、文を作れ。—— イカにもタコにも足がある。
- 3 コンビニで、“お電話”有りますか？と聞くと、—— “おでん”を指さした。
- 4 これで何か旨いものを食べなさい・・・と、—— 割り箸をくれた！
- 5 大学入試の試験が終わって—— 試験官が最後に、皆さんまた来年！

江戸そばなし 【身投げ】

髪振り乱し、橋のたもとまで走って来た女が、一文投げて、橋の上を通り過ぎようとするので、橋番があわてて「おいおい、お女中。橋の渡し賃は二文だよ」と声をかけると、女、あとを振り向いて「あたしゃ、橋の真ん中までしか行かないのさ」

☆ 渡し賃—— 永大橋など大きな橋は、橋の維持補修のために渡し銭を徴収した。

数学時間の答え (14号)

$$\text{Ans} = 89 \text{秒} \quad (1600 + 180) \div 20$$